

【認知症地域支援推進員業務】

R4年12月末現在

業務実績	今後の予定
<p>1. 地域におけるネットワーク体制の支援 関係機関に対してPR 152回 （チームオレンジ活動、施設・事業所訪問等） 地域ケア会議等への出席 16カ所/2人</p> <p>2. 地域における認知症高齢者やその家族を支援する相談支援や体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 153件（実件数 66件） 内 若年性認知症 25件（実件数 7件） 【内訳】本人・家族27件、関係機関39件 <p>認知症サポーター養成講座 26回 包括家族介護・介護予防教室など 28回 オレンジパートナー養成研修 1回 地域福祉デビュー講座（認知症理解）2回 オレンジパートナーのつどい 1回 認知症キャラバンメイト連絡会 1回 やおオレンジカフェ 14回 やおオレンジカフェ連絡会 1回 おれんじ教室“脳りちゃん”165回／6カ所 オレンジパトロール 18回（3地域） おれんじルーム（認知症介護者交流会）4回</p> <p>*アルツハイマー月間イベント（9月）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能集団検査“ファイブ・コグ” ・オレンジパトロール、オレンジパトロール（掃活動） ・認知症啓発上映会“令和ヨシコの物語” <p>3. 認知症ケア及び医療との連携体制構築に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連携 8件 ・関係機関との会議に参加 54回 （包括、地域の会議、認知症初期集中支援チーム員会議、地域密着型サービス運営推進会議など） ・中河内地区認知症施策関連連絡会開催 1回 ・認知症対応力向上研修実施 施設職員向け2回（ABC分析による認知症ケア：レクチャー編、ケーススタディ編） <p>4. 事業の推進に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修、勉強会、講座、認知症疾患医療センター受診同席(OJT)等へ参加 66回 ・大阪府認知症地域支援推進員連絡会参加 1回 ・認知症地域支援推進員（現任者、新任）研修 各1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括、介護保険事業所等と定期的に認知症に関する地域課題の情報共有を行う機会をもつ。 ・認知症相談窓口“やおオレンジダイヤル”の啓発として、認知症の人がチラシの挿入作業の協力をしてくれた“オレンジティッシュ”を関係機関に配架、配布を行っていく。 ・地域ケア会議へ出席し、関係機関へ認知支援活動の状況を定期的に発信していき、連携機会を定期的に持てるようにしていく。 ・やおオレンジダイヤルが認知症の気軽な相談窓口として機能していくように努める。 ・認知症本人、家族の声を地域へ情報発信する機会をつくる。 ・認知症サポーター養成講座は1カ所常設型として定期的に開催、各圏域への地域展開型として開催することで多くの方が受講しやすい環境にする。 ・認知症初期、MCIの方の集い場所として、おれんじ教室（脳トレ教室）を地域への認知症啓発機会を多く持てるようにしていく。 ・オレンジパトロールの活動を認知症本人交流会としても開催していけるようにする。 ・チームオレンジ活動として、おれんじ教室やオレンジパトロールにオレンジパートナーが多く参加できるような仕組みを考えていく。 ・おれんじルーム（認知症介護者交流会）を地域展開していき家族介護者、介護者（専門職等）が交流つながる場所にしていく。 ・若年性認知症本人の定期的な活動、集い場所を作る。 ・認知症疾患医療センター、包括などと定期的な情報交換を行い、医療、介護など多職種連携を円滑に行えるように関係機関へ働きかけていく。 ・認知症初期集中支援チーム員会議に出席して、個別ケースから見える地域課題の抽出を行う。また、ケースに応じて本人の社会参加支援、家族支援に繋げていけるようにする。 ・中河内地区認知症施策担当者と支援体制や活動状況の情報共有、意見交換を行いながら、広域での連携体制を構築して行く。 ・認知症支援、施策に関する研修に参加して、新しい情報収集し、地域に向けて発信する機会を作る ・認知症疾患医療センターの受診同席やカンファレンス等に同席し、本人、家族、支援者などの思い、鑑別診断の理解を深める。 ・認知症地域支援推進員研修に参加することで、全国の認知症支援活動を知り、自己の活動に活かす

